

第9回 退院支援・医療介護連携部会報告書

日 時	平成30年12月20日(木) 19:00~20:00	
場 所	高松市医師会館 2階大会議室	
出席者	■ 吉澤委員長 □ 松本部長 ■ 青木委員 ■ 片山委員 ■ 林委員 ■ 多田委員 ■ 田中委員 ■ 辻委員 ■ 永岡委員 ■ 坂東委員 ■ 古川委員 ■ 三宅委員 □ 和田委員	11名
事務局	高松市医師会事務局 伊藤副会長、山地氏、真鍋氏 高松市地域包括支援センター 坂上補佐 長寿福祉課 地域包括ケア推進室 徳重室長、香川室長補佐、長樂	7名
議 題	1 平成30年度 第3回医療介護連携ミーティングの開催評価 2 第4回医療介護連携ミーティングの開催について	
結 果	<p>1 平成30年度 第3回医療介護連携ミーティングの開催評価</p> <p>◆日時:平成30年12月16日(日)9時30分~12時30分 受付9:00~</p> <p>◆会場:高松市医師会館 5階会議室</p> <p>◆参加者の状況:108名</p> <p>【内訳】○医師8人 ○歯科医師3人 ○薬剤師7人 ○保健師・看護師18人 ○訪問看護師8人 ○SW14人 ○介護支援専門員19人 OPT・OT・ST22人 ○施設長2人 ○高松市7人</p> <p>◆事例検討について 三宅先生の司会進行 介護保険の2号受給者で、緩和ケアを中心とした事例 残された子どもへのケアやグリーンケアについてなど、良い内容であった。</p> <p>◆高松市医師会在宅医療連絡協議会について 吉澤委員長から 在宅医療ネットワークについての説明</p> <p>◆高松市入退院支援ルールについて 松本委員から説明 高松版の入退院支援ルール 職種によって希望する情報・内容が異なっているので、一本化して最大公約数的なものとするよう進めていく。</p> <p>◆意見 ミーティングへの医師の参加が少なかった。</p> <p>2 第4回医療介護連携ミーティングの開催について</p> <p>◆日時:平成31年2月24日(日)9時30分~12時30分</p> <p>◆会場:レクザムホール 5階多目的会議室「玉藻の間」</p> <p>◆対象者 医師、薬剤師、看護師、PT・OT・ST、NSW、ケアマネージャー、介護福祉士ほか</p>	

◆役割分担について

進行(コーディネーター)は三宅先生にお願いしたい。

参加者の数によって、ファシリテーターは委員全員で行う。

◆募集期間

グループわけの関係から2月18日(月)までには、参加者を固めたい。

募集期間は、1月18日(金)から2月18日(月)までの1か月間

1月17日の部会でテーマを決めて、21日に最終的な打ち合わせを行う。

◆事例検討:グループワーク形式で行う。

多職種連携部会が認知症をテーマとしていることと、第1回ミーティングのテーマが救急なので、それ以外で考える。

テーマをグループ毎に選ぶという方法をとれば、事例は2例3例でも、3例以上でも良い。

非癌のターミナルの事例はどうか？

慢性疾患の臓器不全であれば、心不全、腎不全、呼吸不全などか。

慢性の臓器不全は、どこまで治療を継続するかという問題があり、病院の医師とのすりあわせや本人の意思の確認など非常に難しい問題となる。

慢性不全の臓器不全による在宅医療を考える。

透析をしていれば、在宅とはいえないか？腹膜透析なら在宅も可能

事例については、心不全で入退院を繰り返す症例と、腎不全の透析関係の2例とする。

腹膜透析の開始年齢が80歳を超えているという。患者が望んでいるのか？どこでやめるのか？ガイドラインはあるが、本人、医師、在宅医の思いが違うため、症例によって医師を呼んでもらいたい。

実例に沿ったものであれば、100%ノンフィクションでなくても良い。

次回、1月17日の部会では、症例を検討したいので、1月10日くらいまでに、事務局に症例を挙げてもらいたい。